

2005年2月14日

**カード業界初「入会」から「回収」にいたる全局面の一貫したリスク分析・管理を実現
リスクマネジメントで利益極大化・コスト極小化を図る
「UC与信戦略実行システム」稼動**

ユーシーカード株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:上杉純雄 以下、UCカード)は、クレジットカードの入会から回収にいたる全ての局面において個々のお客様のリスクを一貫して分析・管理し、利益の極大化・コストの極小化を図ることができるリスクマネジメントシステム「UC与信戦略実行システム」を開発し、2005年2月14日からシステムの稼動を開始いたしました。

これにより、UCカードは、今後5年間で約80億円の利益拡大・コスト削減を見込んでおります。

今般、稼動を開始する「UC与信戦略実行システム」は、個々のお客様の「ご入会」、「ご利用」、「お支払い」にいたる全ての局面においてそれぞれのリスクを数量化し、それぞれの局面における与信、回収業務のコントロールを一貫して行なえるシステムです。「入会審査」から「途上与信」、「回収」にいたる全ての局面において一貫したリスク分析、与信・回収業務コントロールを行なえるシステムを導入するのは、国内カード業界で初めてとなります。

UCカードは、2003年8月、CRM戦略の一環として「入会」から「回収」にいたる全局面のリスクを数量化する「リスクモデル」の構築と、それらを活用して与信・回収業務をコントロールする「意思決定モデル」の構築により、収益増強と不良債権抑制を図ることを目的として、社内にプロジェクトチームを組成いたしました。

2004年2月には、「入会審査」「途上与信」「回収」の全局面における「リスクモデル」の構築を実現しました。特に「回収」局面では、お支払いが遅れるお客様を3つのセグメントに分類することに成功し、全体の4割から5割は、入金のご案内の電話をしなくても1週間以内にご入金いただけることが分かりました。これにより、資金回収に要する体力・時間を、より集中することが可能となり、回収業務の効率化を図れるようになります。

そして、今般、「入会審査」「途上与信」「回収」における「意思決定モデル」の構築を実現し、最適、かつ、迅速な与信・回収業務のコントロールを容易に行なうことが可能となりました。より最適な与信戦略を立案するための新しい与信戦力を、現在採用している与信戦略と平行して走らせ、検証できる機能を盛り込みました。新しい与信戦略の方が効果的であると判断されれば、それを新与信戦略として採用できるようにいたしました。これにより、常に精度の高い与信戦略へと発展させていくことが可能となります。UCカードでは、本システムを、入会審査基準の見直しやショッピング・キャッシング・ローンなどの与信枠の増減、カード更新時の基準見直しなどから活用を始め、今後、回収業務の効率化、リスクに応じたカード利用制限など活用分野をさらに拡大してまいります。

UCカードでは、今後、本システムを活用しより精度の高い与信戦略を実現してまいります。そのうえで、UCカードグループ各社をはじめ、既存のクレジットカード業務受託企業への本システムの活用を働きかける予定です。さらには、業界最強のプロセッシング事業会社を展望し、その他のクレジットカード事業者からの業務受託を推進してまいります。

以上

【「UC 与信戦略実行システム」概念図】

